

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- 建物...定額法による減価償却を実施している。
- 什器備品...定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

- 退職給与引当金...従業員退職金の支給に備えるため期末要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

- 税込方式を採用している。

2. 会計方針の変更

該当事項なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
大山基金	7,600,000	0	0	7,600,000
大島基金	7,000,000	0	0	7,000,000
門奈基金	1,000,000	0	0	1,000,000
前田基金	2,000,000	0	0	2,000,000
小計	17,600,000	0	0	17,600,000
特定資産				
退職給与引当資産	6,120,000	326,000	0	6,446,000
事務所修繕費積立資産	350,000	50,000	0	400,000
基盤強化・活性化事業積立資産	13,731,462	479,500	2,056,901	12,154,061
名簿発行事業基金	0	1,000,000	0	1,000,000
記念事業準備資金	0	2,000,000	0	2,000,000
小計	20,201,462	3,855,500	2,056,901	22,000,061
合計	37,801,462	3,855,500	2,056,901	39,600,061

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	17,600,000	0	17,600,000	-
小計	17,600,000	0	17,600,000	-
特定資産				
退職給与引当資産	6,446,000	0	0	6,446,000
事務所修繕費積立資産	400,000	0	400,000	0
基盤強化・活性化事業積立資産	12,154,061	0	12,154,061	0
名簿発行事業基金	1,000,000	0	1,000,000	0
記念事業準備資金	2,000,000	0	2,000,000	0
小計	22,000,061	0	15,554,061	6,446,000
合計	39,600,061	0	33,154,061	6,446,000

5. 担保に供している資産

該当事項なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	償却累計額	当期末残高
建物	11,560,000	7,044,664	4,515,336
什器備品	260,400	16,274	244,126
土地	2,040,000	0	2,040,000
ソフトウェア	473,025	47,302	425,723
敷金	210,000	0	210,000
合計	14,543,425	7,108,240	7,435,185

7. 債権について貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合には、当該債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高
該当事項なし

8. 保証債務等の偶発債務
該当事項なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び評価損益
該当事項なし

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	当期末残高
岡山工学会振興会学会補助金	岡山工学会振興会	60,000	60,000	0
秋季学会補助金	岡山観光コンベンション	200,000	200,000	0
ACASC2009補助金	くにびきメッセ	1,420,000	1,420,000	0
ACASC2009補助金	松江市	528,800	528,800	0
合計		2,208,800	2,208,800	0

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし

12. 関連当事者との取引の内容
該当事項なし

13. 重要な後発事象
該当事項なし

14. その他
該当事項なし